

第2520地区

 2017~2018

**ひろがれ
まわれ
一つ心に**

MORIOKA
 ROTARY CLUB WEEKLY

第33回例会(4月13日)
 平成30年4月20日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 飯塚 肇
 川徳デパート内 幹 事 星 克彦
 例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代) 会 報 伴 亨
 例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019(653)5682
 http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー:変化をもたらす'... イアン H.S. ライズリー
 盛岡RC会長テーマ ーもう一度、奉仕ー... 飯塚 肇



ゲスト卓話

『フードバンク岩手の
 取り組みについて』

特定非営利法人
 フードバンク岩手 副理事長・事務局長

阿部 知幸 様

●スピーカー紹介

2011年3月11日、東日本大震災発生以来、生活支援相談員として盛岡に避難してきた世帯へ全戸訪問(4年間で17,500世帯)
 2012年フードバンク岩手 設立準備開始・2014年活動開始(2015年法人格取得)
 NPO 法人 フードバンク岩手 副理事長/事務局長
 一般社団法人 岩泉よりそい・未来ネット 理事
 一般社団法人 全国フードバンク推進協議会 理事
 一人一人が大事にされる災害復興法をつくる会 世話人
 いわてNPO 災害支援ネットワーク 幹事

フードバンク岩手では、賞味期限内でも流通の都合で破棄されてしまう食料品、生産者や市民から寄付頂いた食料品を集め管理し、岩手県内の行政や社会福祉協議会等の支援員、子ども食堂、児童・障がい者施設へ食料品を無償でお渡ししております。

現在、岩手県内の6市町18箇所で行っているフードドライブ(食品回収運動)では、フードバンクポストを設置し、フードバンクポストに食料品を入れる事で誰でも社会参加する事ができ、食料品の寄付をきっかけに身近に困っている人がいればフードバンク岩手を紹介するなど、多くの市民が地域の中で支援者となり支えあう地域づくりや仕組みづくりになるようフードドライブ活動を行っております。

フードドライブなどで集まった食料品の検品や梱包作業には、一般ボランティアや学生ボランティア参加で行っております。将来の担い手でもある学生が、主体的に活動に関わる事で子どもの貧困問題について理解を深めてもらい、身近な地域課題と向き合う事によりこれからの社会や地域の発展へとつながるような活動も行っております。2017年度は1,501世帯、16,768.27kgの世帯へ食料支援を行いました。

特に長期休暇となる夏休み・冬休みは通常月の倍以上の緊急支援の要請があります。

長期期間の休みは給食がなくなり、家庭での負担が増え、健康面での心配や、食べられないことに由来して引き起こされる万引きなどの軽犯罪を防ぐと共に、成長を助ける目的として一部地域を対象に、現在まで1,035世帯3,544人(内.子ども1,960人)にのぼる世帯へ食料品の配送を致しました。

食料品が届いた子どものいる世帯からは「お米と灯油どちらを買うか迷う時があり、今年はこのような支援をもらってとても助かった。相談窓口で相談にのってもらい次男の進学もなんとか前向きに頑張れそう。」「箱をあけた時の子ども達の顔がパーッと明るくなりました。私も心があたたかくなり、日々色々と追い込まれている状況で落ち込んでいたが、こうやって目を向け、助けてくれる人がいる、とあの時の気持ちが忘れられません。私も、誰かを支援できるほどに自立して生活できるようにがんばりたい。」「お給料日まで数百円、育ち盛りの男の子三人を抱え、子どもに麺類だけの食事の日々に、たくさんの食料品が届き、子ども達にお腹いっぱい食べさせる事ができた。」

と声がありました。

食の支援を通じて、食料品の配送だけではなく、各世帯での困り事として抱えている問題に対して相談窓口の案内チラシを同封し、相談支援が必要な世帯に、支援員からの直接訪問を行うなど、支援の手から漏れないよう早期の生活改善を目指し活動しております。しかし、1回でSOSを出せない世帯が多いのが実情であり、まだまだ私たちの支援を待つ方が多くいます。

岩手県をはじめ東北での活動を通して、東日本大震災から7年以上経った今でも、被災地や避難

先で未だに生活再建をするきっかけすらつかめずに、生活に困窮している方が多くおります。また被災地に限らず、様々な事情により生活に困っている方も多くおります。

社会課題先進地と言われる被災地や被災県での生活困窮者への支援活動のなかで、食の支援を通じ支援の手から漏れないよう、困窮しきることがない社会づくりを目標に活動を継続してまいりたいと思いますので、引き続き皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 フードバンク岩手

フードバンク岩手へ3つの寄付のカタチ



【食べ物の寄付】
あなたの身近なところで眠っている食べ物はありますか？その一品で助かる人やその一品を必要としている人がいます。



【お金の寄付】
あなたの寄付で寄付額の10倍、100倍・・・それ以上の食べ物を必要とし困っている人に届ける事が出来ます。



【時間の寄付】
食べ物もお金も要りません。あなたの大切な時間をボランティアとして寄付してください。誰でもない、あなたの子カラが必要です

特定非営利活動法人 フードバンク岩手
〒020-0087
盛岡市上ノ橋町 1-50 岩織ビル 3-7
TEL & FAX 019-654-3545

盛岡 RC 青少年委員会ではフードドライブ活動を行っています

♥会員のみなさんへ協力をお願い

ご家庭で眠っている食品、余りそうな食品をお持ち寄りください。

◆ご提供いただきたい食料品例)

- 米 (平成 29 年産のもの)・缶詰・瓶詰め・レトルト食品・乾麺・のり・ふりかけ等ご飯のお伴・お茶・調味料・スープ類
- お歳暮、お中元、引き出物などの贈答品・ふるさと納税の返礼品など大歓迎

◆ご提供いただく食べ物の条件

- 賞味期限が1ヶ月以上あるもので常温保存可能なもの
- 未開封のもの
- 自家製品 (漬物・自家製味噌など) は残念ながら受け付けてもらえません。

◆受け付け方法

- 例会時に会場へご持参。
- 盛岡 RC 事務局 (カワトク別館駐車場 出口側 1F) へご持参。
※青少年奉仕委員がフードバンク岩手へ届けます。

◆募集期間

- フードドライブ強化月間を設けます。
(冬・春・夏休みの学校の長期休暇は給食がないため支援重点期間です)
- フードドライブ月間以外でも随時募集していますので、ご都合の良い時にお持ちください。
つまり、いつでも受け付けています!

去る4月5日にご逝去された鈴木貞雄先生のご葬儀に於いて盛岡ロータリークラブを代表して川村登会員が弔辞を述べられました。川村登会員のご厚意により弔辞を掲載させていただきます。



鈴木貞雄 特別名誉会員

【入会】昭和31年(1956)1月

【退会】平成25年(2013)3月

【皆出席】57年

【会長年度】1975～1976年度

【財団への寄付歴】

ポールハリスフェロー・マルチプルフェロー・ベネファクター・米山功労者

平成25年特別名誉会員

弔辞

謹んで故鈴木貞雄先生の御霊の前にお別れの言葉を述べさせていただきます。

この度、先生の訃報に接し盛岡ロータリークラブ会員一同深い悲しみに包まれております。

鈴木先生は立派なロータリアンとして盛岡クラブに多大な貢献をされクラブの誇りでした。

顧みますと先生は昭和31年、34歳の若さで盛岡ロータリークラブに入会され、平成25年91歳で退会されるまで実に57年に亘り在籍され最も永く最も高齢な会員で、しかも57年間皆出席という記録を印され退会後も名誉会員に推薦され会員の尊敬を受けてこられました。

私は昭和50年、先生が会長の年度に幹事を務めさせて頂きましたが、先生は歯科医院のお仕事がお忙しい中、凡帳面で緻密なクラブ運営をされ幹事の私は非常にやり易かったのですが、先生から「川村君はいい幹事(感じ)だね」とユーモアを交えて云われた時は非常に有難く感じました。

先生は卓絶したリーダーシップと共にロータリーに関する知識も豊富で正に生字引的存在で私も種々ご指導を頂き感謝しております。

先生はRI関係では、ポールハリスフェロー、米山功労者、ベネファクター、マルチプルフェローなどを受賞され多大な貢献をされました。

先生は常に「私の趣味はロータリーとゴルフだ」と云っておられました。

平成18年例会で先生の50年出席偉業達成のバッチと花束が南部パストガバナーから贈呈されましたが、その時の卓話でロータリークラブ入会のエピソードを話されましたね。

それは昭和27年頃、岩手で初めて花巻ゴルフ場が開設され先生が南部利英会員や熊谷松男会員に指導を受けながらラウンドしていた時ロータリー入会を勧められ、当時は1業種1会員の規定が厳しい時代でしたが、先生は盛岡歯科医師会長を務めていたのでお二人の推薦で最年少会員として入会したと話されました。先生はゴルフをこよなく愛されましたが、長いゴルフ歴の中でホールインワンを4回達成という驚異的記録を残され、ゴルフからも愛されていたのですね。

更に先生は美術的素養に恵まれ、絵画に関してはご自分で風景や人物を描き画集を出版される程の鈴木画伯でした。

盛岡ロータリークラブはお陰様で来年創立80周年の節目を迎え記念式典を行う予定になっており会員全員で準備を進めております。先輩達が築いてこられた盛岡ロータリークラブの歴史と伝統を守りながら時代の変化に適応しつつ引き継いで行く覚悟です。どうかお見守り下さい。

鈴木先生、永い間本当に有難うございました。先生のこれ迄のご功績に深く感謝申し上げます。どうか安らかにお休み下さい。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

さようなら 合掌

平成30年4月9日
盛岡ロータリークラブ
川村 登